

維新体感

激動の幕末・維新の時代を生き、
短くも激しい生涯をおくった

『幕末の風雲児』 高杉晋作。

その生き様を、高杉晋作の残した言葉、
関わってきた人たちから感じてみる。

萩・下関スタンプラリー

第三章 〈人物編〉



高杉晋作像(日和山公園／下関市)



萩・下関 高杉晋作広域連携事業協議会

下関市事務局 ☎083-231-1350(下関市観光交流部観光政策課内)

萩市事務局 ☎0838-25-3139(萩市商工観光部観光課内)

萩・下関スタンプラリー

第三章「人物編」

平成27年 11月1日(日)～平成28年 3月31日(木)

幕末の風雲児 高杉晋作が駆け抜けた街、萩・下関を巡る。

各市1箇所(合計2箇所)のスタンプを集めた方に、オリジナルクリアファイルをもれなくプレゼント!



応募票を提出された方の中から

さらに **萩市・下関市の特産品などを抽選で20名様にプレゼント!**

宿泊券、お食事券、海響館チケット、萩焼などが当たる!!

*プレゼントの出当発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



*花燃ゆ大河ドラマ館の開館は平成28年1月10日まで



下関市のプレゼント交換・応募受付は以下の3施設になります。

- 下関駅観光案内所 (JR下関駅構内 ☎083-232-8383)
- 新下関駅観光案内所 (JR新下関駅構内 ☎083-256-3422)
- 長府観光会館 (下関市長府待町 ☎083-246-1120)

*萩市は各スタンプポイントになります

下関IC	中国道	小月IC	美祿線	萩IC	萩中心部	萩IC	高速で
	約49.6km 38分 (約1,450円)		約13km 10分		約20km 20分		
下関中心部	国道191号	三隅IC	萩・三隅道路	萩IC	降りてすぐ	萩中心部	一般道で
	約80km 1時間20分		約15.2km 15分				
下関	山陽本線	小月	厚狭	美祿線	長門市	山陽本線	萩
	35分			66分		32分	
	[山あいコース] 所要時間: 約2時間30分						JRで
下関	山陽本線★	長門市	山陽本線			萩	
	120分		32分				
	[海沿いコース] 所要時間: 約2時間40分						
	★全・日・夜日の下関一長門市駅間は山陽観光列車 [みず・海沿い]の2利用があります。						

◎スタンプラリーに関するお問い合わせは――

萩・下関 高杉晋作広域連携事業協議会

下関市事務局 ☎083-231-1350(下関市観光交流部観光政策課内)

萩市事務局 ☎0838-25-3139(萩市商工観光部観光課内)

特産品プレゼント応募票

✂ キリトリ線

住所

フリガナ

お名前

年齢

歳

電話

性別

男・女

コメント欄

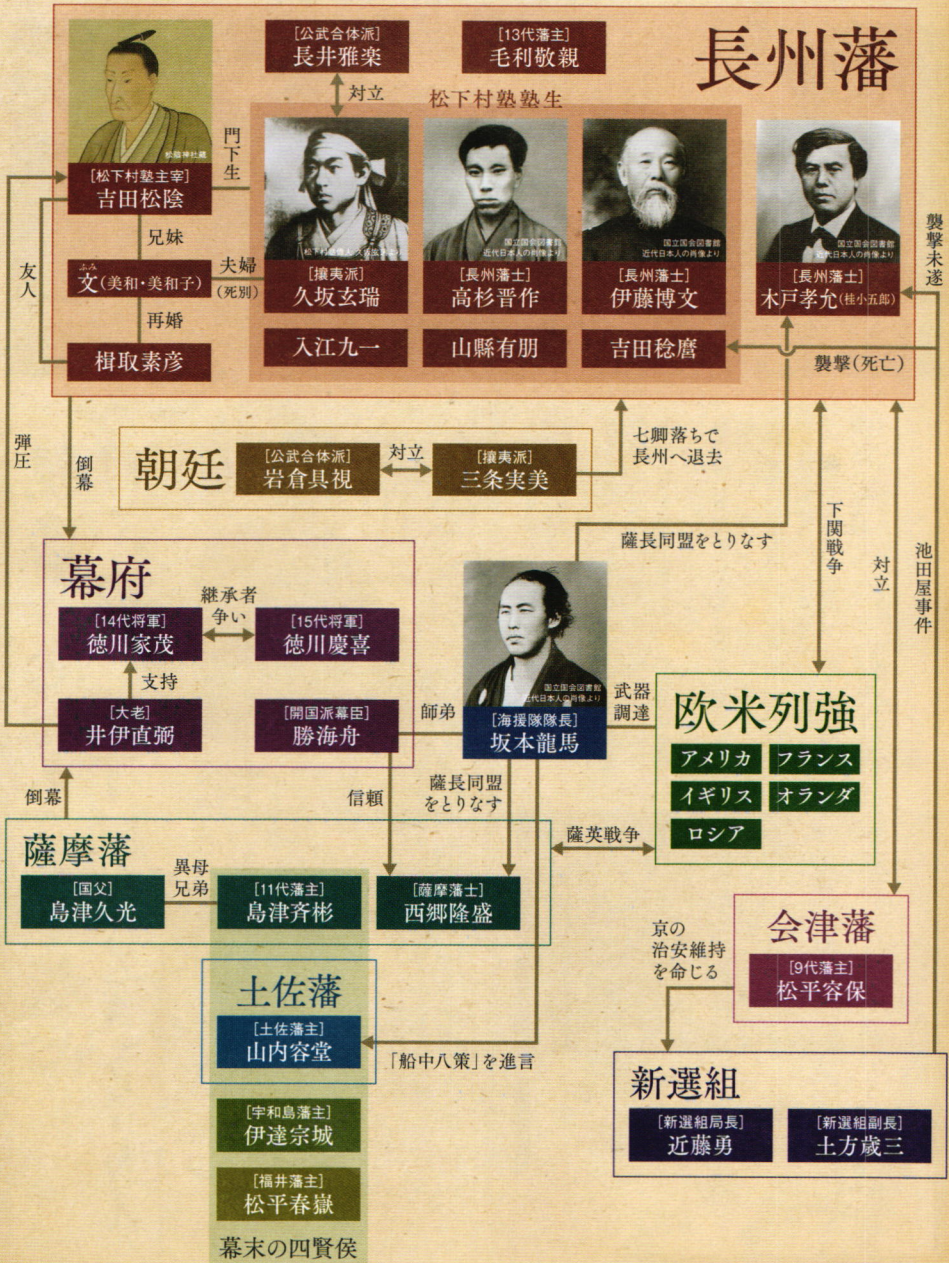
スタンプ欄 萩

スタンプ欄 下関

※萩・下関各1箇所のスタンプを押印し、応募票に必要事項をご記入の上、スタンプ設置場所にご提出ください。※ご記入いただいた個人情報は、抽選および賞品の発送以外には使用いたしません。

幕末維新の人物・組織相関図

長州藩



歴史が動く! 維新の胎動



幕 末期に吉田松陰が主宰した松下村塾は、天保13年(1842)に松陰の叔父である玉本文之進が自宅で開いた私塾がその始まり。後に松陰の外伯父にあたる久保五郎左衛門が継ぎ、安政4年(1857)、28歳の松陰がこれを継承、主宰することになった。松陰は身分や階級にとらわれず塾生を受け入れ、わずか1年余りの間に、久坂玄瑞、高杉晋作、伊藤博文、山県有朋、山田顕義、品川弥二郎など、明治維新の原動力となり、明治新政府で活躍した多くの逸材を育てた。平成27年(2015)に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産のひとつとして世界遺産に登録された。

吉田松陰



松陰神社蔵

【現代語訳】自分は両親のことを思い心配をしているが、その自分が親を思う心よりも、親ははるかに自分のことを思い気にかけているだろう。その親は、今日私が処刑されたという知らせをとんな思いをして聞けるだろうか。

江戸在獄中の安政6年(1859)に父・叔父・兄らに宛てた書状の中のもので、刑死する一週間ほど前に詠まれた歌。

親思う心によさる親心
けふのおとずれ何ともくらん

松陰神社

明治23年(1890)に吉田松陰を祀って建てられた神社。松陰神社境内には、幕末の志士を数多く輩出した松下村塾や、文をはじめ杉家の家族が暮らした吉田松陰幽囚ノ旧宅(杉家旧宅)などがある。

萩市榎東1537 TEL.0838-22-4643
アクセス▶萩循環まあるバス(東回りコース)
「松陰神社前」バス停より徒歩1分



家族の目を盗んで…

塾生のひとり、高杉晋作は、松下村塾に通うことを禁じられていたため、夜中に家族の目を盗んで萩城下の自宅から30分ほどの距離にある村塾に通っていた。

松下村塾の双壁

西へ行く人をしたいて東行く
わが心をば神やしるらむ

【現代語訳】西行法師を慕い私は東行と名乗ります。東へ向かおうとする私の心は神のみぞが知っています。

晋作が主張する、割拠論が受け入れられず、文久3年(1863)、10年間の暇を請い許され、剃髪して東行と号した際に詠んだ歌。

高杉晋作



国立国会図書館
近代日本人の肖像より



高杉晋作誕生地

幕末の風雲児・高杉晋作の生まれ育った場所。敷地内には晋作ゆかりの品や東行と号した歌碑や詩碑、産湯の井戸などがあり、当時の面影をよく残している。

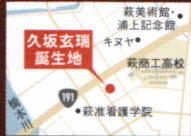


萩市南古萩町23 TEL.0838-22-3078
アクセス▶萩循環まあるバス(西回りコース)
「萩博物館前」バス停より徒歩7分



久坂玄瑞誕生地

玄瑞は、18歳のときに松陰の妹・文(ふみ)と結婚。元治元年(1864)の禁門の変で流弾を受け負傷、享年25歳という若さで自刃した。旧宅跡には三条実美が詠んだ追悼の和歌を刻んだ石碑が建てられている。



萩市平安古町 TEL.0838-25-1750(萩市観光協会)
アクセス▶萩循環まあるバス(西回りコース)
「久坂玄瑞誕生地前」バス停より徒歩すぐ

久坂玄瑞



松下村塾偉人 久坂玄瑞より

暢夫の識を以って、玄瑞の才を行ふ、
氣は皆其れ素より有するところ、
何をか為して成らざらん。

【現代語訳】晋作の高い見識をもって、玄瑞の才を行うならば、氣力は元々あるのだから、成就しないものはない。

安政5年(1858)に江戸遊学に行く晋作に松陰が贈った文の中にある一節。松陰は晋作を猛勉強させたため、久坂をライバル視するように仕向け、お互いに切磋琢磨させていた。松陰は晋作と久坂の二人が力を合わせれば不可能なことは何もないと非常に高く評価していたことがうかがえる。

泰然自若の侯



萩城(萩博物館蔵)

そうせい

毛利敬親



萩博物館蔵

長州藩の第13代藩主の毛利敬親は、家臣の意見に対して異議を唱えることがなく、常に「そうせい(そうしなさい)」と答えていたことから「そうせい侯」と称された。有為な人材を積極的に登用し、のびのびと活躍させていた敬親公であったからこそ、長州藩が明治維新の原動力になれたといわれる。

花

江茶亭は、13代藩主・毛利敬親が旧三の丸にあった藩主別邸花江御殿内に増築

した茶室で、明治期に指月公園内に移築された。幕末期、敬親はこの茶室で家臣たちと時勢を論じ、国事を画策したといわれている。



花江茶亭

萩城跡・指月公園

慶長9年(1604)に毛利輝元が指月山麓に築城したことから、別名指月城とも呼ばれる。山麓の平城と山頂の山城とを合わせた平山城。明治7年(1874)に天守閣、矢倉などの建物は全て解体され、現在は石垣と堀の一部が昔の姿をとどめている。一帯は世界文化遺産に登録、国の史跡に指定。石垣などがライトアップされた夜間も見どころ。



萩市堀内1-1 TEL.0838-25-1826(指月公園料金所)
アクセス▶萩循環まあるバス(西回りコース)
「萩城跡・指月公園入口・萩夏みかん工房前」バス停より徒歩3分



生粋のリーダー

死而後已

ししてのちやむ

木戸孝允が家の二階の桁に落書きした言葉。元は「論語」泰伯篇に出てくる言葉で、「死んではじめてやるべきに生きている限り力を尽くす、死ぬまで努力を続ける」という意味。吉田松陰の「士規七則」の七則目にも使われている。現在のこの落書き部分は保存され、木戸孝允旧宅内に展示されている。



木戸孝允旧宅

西郷隆盛、大久保利通と並び「維新の三傑」と謳われた木戸孝允、別名「桂小五郎」の生家。生まれてから江戸に入るまでの約20年間を過ごした木造瓦葺2階建ての家には、誕生の間や幼少時代の手習いの書を表装した掛け軸、写真などが展示されている。ボランティアガイドが常駐しているので詳しい説明を聞くこともできる。



萩市呉服町2-37 TEL.0838-25-1750 (萩市観光協会)
アクセス▶萩循環まあるバス(西回りコース)
[萩美術館・浦上記念館・萩城下町入口]バス停より徒歩4分



木戸
孝允

国立国会図書館 近代日本人の肖像より



江戸屋横町

萩

城下町にある町筋は碁盤目状に画され、武家屋敷や町屋が軒を連ねていた。町筋の菊屋横町、伊勢屋横町、江戸屋横町はいずれも当時の豪商の名前を冠したものだ。そのうち菊屋家住宅は現在、国指定重要文化財として公開されている。城下町一帯は世界文化遺産に登録、国の史跡に指定されている。

奇兵隊 結成す



白石正一郎宅 浜門写真(個人蔵・下関市立長府博物館寄託)

いかならん我すら冬のたへうきに
こやせる君かよるの寒さは

【現代語訳】私(正一郎)ですら冬の寒さは耐えがたいのに、病で瘦せたあなた(晋作)にとって冬の夜の寒さはつらいでしょう。

荷受問屋の白石正一郎は、奇兵隊を財政的に支え、自らも隊士として活動した、明治維新の影の功勞者ともいえる人物。彼は優れた歌人でもあった。彼の八百余首の歌を収めた歌集「松のおち葉」がある。これは再び病氣の高杉晋作を見舞った際に詠んだ歌。

「奇兵隊」は身分によらない組織

奇兵隊は、身分に関わらず「有志之者」を募り、「力量」を重んじた「堅固之隊」することを目的に創設された。なお、隊名は「藩士を中心とした」「正兵」に対する「奇兵」が由来となっている。



白石正一郎旧宅跡 (奇兵隊結成の地)

白石正一郎は、清末藩領竹崎の大年寄で荷受問屋。薩摩藩・萩藩の御用達を勤めた。鈴木重胤に国学を学び、勤王の志が強く、当地を訪れた高杉晋作・久坂玄瑞など多くの人々を物心両面にわたって支えた。旧宅跡には、現在石碑が建っている。

下関市竹崎町3丁目8-13
アクセス▶JR下関駅から徒歩5分



白石正一郎

文

久三年(1863)6月、攘夷戦の敗北を受け、萩藩主から馬関(下関)防衛の再編を命じられた高杉晋作。すぐさま下関に向かった晋作は、竹崎の白石正一郎邸(写真上)に入り、入江九一ら同志と図り、奇兵隊を結成した。その際、正一郎は弟の廉作らと共に奇兵隊へ入隊。以後、献身的な支援を続けたようだが、慶応元年(1865)5月に正一郎は奇兵隊を脱退している。

回天の義拳

国を売り君を囚えて至らざる無し
忠臣義に死す是れ斯の辰
天祥の高節成功の略
二人を学んで一人と作さんと欲す

高杉
晋作

元

元治元年(1864)、禁門の変後に朝敵へ失墜した長州藩に対し、第一次長州征討が実行された。藩内は朝廷・幕府に恭順を示す保守派が主導権を握ると、征長軍が提示した三家老切腹、萩藩主の蟄居謹慎などを実行、長州征討の早急な解決を模索した。しかし、保守派政権の対応に不満を顕にした晋作は、藩政の一新を求め、奇兵隊ほか多くの諸隊と袂を分ち、決起を決意。12月16日の明け方、功山寺を訪れた晋作は、三条実美ら五卿に「これよりは、長州男子の腕前をお目にかけ申すべし」と告げ、伊藤俊輔ほかわずかな兵を率いて、萩藩の新天地会所に向かったのである。

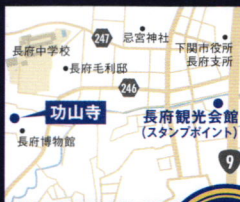
藩政一新のきつかけ

晋作の決起を契機に、内訌戦が勃発。防長二州の機軸を握る人々の尽力により、藩内が「武備恭順」にまとまった。



功山寺

嘉暦2年(1327)創建の曹洞宗の寺で、長府毛利家の菩提寺でもある名刹。仏殿は、鎌倉時代の禅宗様建築を代表するもので、国宝に指定されている。桜と紅葉の名所としても知られる。門前に回天義拳の碑。境内には馬上姿の高杉晋作義拳銅像が建てられている。



スタンプポイント

下関市長府川端1丁目2-3
アクセス▶サンデン交通「城下町長府」バス停より徒歩10分

【現代語訳】国を売り主君を囚えるような者がまかり通っている。忠臣が現れ義のために死ぬのはこの時だ。文天祥(南宋の忠臣)の高節と鄭成功(清に抗した明の謀臣)の謀略。この二人の長所を学んで一人で備えたい。

下関に戻った晋作の決意。華兵を前にして中国史上で「忠臣」と称えられる文天祥と鄭成功の二人を合わせたような人物になりたいという。筑前藩士月形洗蔵や大庭伝七に書き与えたものもあるが、字句に多少の異動あり。下関市日和山公園にはこの詩を刻んだ碑がある。

長州vs列強 下関戦争



占領された前田砲台低台場(下関市立長府博物館蔵)

内憂外患吾が洲に迫る
正に是危急存亡の秋
唯邦君のため邦国のため
降殫名姓又何ぞ愁えん

高杉

晋作



国立国会図書館 近代日本人の肖像より

長

州藩による関門海峡の封鎖、朝廷・幕府による横浜鎖港・貿易統制など、あくまでも攘夷を貫く。日本に対して、欧米列強は警戒心を抱く。このような状況下、連合国(英・仏・蘭・米)は日本国内の攘夷勢力に打撃を与えるため、下関攻撃を計画した。

元治元年(1864)8月5日、四国連合艦隊が砲撃を開始。瞬く間に下関の各砲台は撃破され、前田砲台は連合国軍に上陸を許してしまう。

8月8日、長州藩は高杉晋作を正使として連合国に休戦を申し入れた。さらに、14日に家老宍戸備前を派遣して関門海峡の自由航行・再武装の禁止などを盛り込んだ講和条件を承諾。以後、講和交渉は連合国と幕府の間で行われ、賠償金300万ドルが幕府から支払われることに決まった。

宍戸刑馬として

休戦交渉の場に正使として臨んだ際、晋作は家老宍戸備前の養子「宍戸刑馬」と名を変えた。



みもすそ川公園

攘夷戦で外国船に砲撃した長州藩の砲台跡を整備した公園。当時使用された大砲が原寸大で復元されている。公園前の海は関門海峡の一番狭まった「早瀬の瀬戸」といわれる場所で、そばには本州と九州を結ぶ関門橋が架かる。

下関市みもすそ川町1番
アクセス▶サンデン交通「御裳川」バス停すぐ



【現代語訳】国内は乱れ外敵も迫ってきた。まさに一大事の時である。自分は主君のため、国のため、ただ尽くすのみだ。たとえ、自分の命や名が奪われても、何も悲しむことはない。

元治元年(1864)、禁門の変で敗北を喫した長州藩は、第一次長州征討が実行されると、藩政は朝廷・幕府に恭順する保守派に握られた。晋作たちは失脚したがその時の心境を詠んだ詩。今日詩吟などで最もよく吟じられる代表作のひとつ。

晋作最期の戦い

表
向きは恭順を示しながらも、裏では武力を蓄える長州藩に対し、幕府は警戒を強めていく。慶応2年（1866）6月7日、ついに征長軍は大島へ砲撃を開始。幕長戦争の火蓋が切られた。6月17日には関門海峡を挟んで対峙した長州軍と征長軍でも戦闘が始まる（小倉口の戦い）。

いさご酒
君がすすめしありさまは
目にも耳にもなお残りけり



国立国会図書館 近代日本人の肖像より

山縣有朋



高杉晋作療養の地

病をおして戦い、幕府軍を駆逐した晋作は、桜山のふもとに小さな家屋に転居し、療養生活にはいった。



高杉晋作終焉の地

晋作がその生涯を閉じた場所。27歳という若さであった。現在は石碑が建つ。

【現代語訳】ひさご酒を君が私にすすめてくれたその様子は、今でも鮮明に記憶している。
晋作は小倉口の戦いの折にも飄酒を飲みながら指揮をしていたという。この歌は大正5年に晋作が持っていた瓢に再会した有朋が往時を懐かしんで詠んだもの。晋作との思い出は有朋の青春に直結するものであったことがわかる。

長州軍は奇襲攻撃で機先を制し、戦いを優位にすすめたが、征長軍の反撃にあい、幕長戦争最大の犠牲者を出す。均衡状態が続く中、將軍徳川家茂が亡くなると、征長軍は撤退。後に休戦が成立した。
海軍総督の晋作は戦陣に身を置き、長州軍を鼓舞して勝利を目指したが、志半ば、体の不調を訴え療養を余儀なくされた。

西洋銃陣を駆使して撃破
優れた指揮者の配置、散兵戦術と最新式の銃砲を用いた西洋銃陣を駆使し、戦いを有利にすすめた。



東行庵

高杉晋作の墓は東行庵の裏山、清水山にある。晋作が死ぬ間際に「吉田へ…」とつぶやいたことから同所に葬られることとなった。東行庵の前身は、山縣有朋が所有していた「無隣庵」で、晋作の愛人・おうの（出家し梅処尼）に与え、著名士の寄附により東行庵が建てられ、梅処尼に贈られた。

下関市吉田1184
アクセス▶JR小月駅よりサンデン交通バスで14分「東行庵入口」バス停より徒歩5分



吉田へ...

おもしろき、
こともなまき世を
おもしろく

高杉晋作

【現代語訳】どのような世の中であらうとも、心の働きによって、面白く生きることが可能である。

有名な晋作辞世の句と言われる歌。死の床にあった晋作が詠み、看病していた野村望東尼が「すみなすものは心なりけり」という下の句をつけたと言われているが、近年の研究によればこの歌は死の前年にすでに詠まれていたという説が有力。